

広報

昭和61年

12月

第317号 (毎月15日発行)

町の人口と世帯

12月1日現在

男 7,007人(- 4)

女 7,134人(+ 3)

計 14,141人(- 1)

世帯数 3,308戸(- 1)

たまっくり



主な見どころ

みんなで走れ！走れ！

11月23日に行われた「町民健康マラソン大会」には町民400人が参加。親子が一緒になって1.5kmにちょう戦する姿も見られ、走り終えたあとの満足感に、みんなさわやかな顔をしていました。

広報に見ることしの町の		主なできごと	
昭和六十年一般会計及び		特別会計決算	
炭土地改良事業が完		おしらせ	
まちのわだい		おしらせ	
おしらせ		おしらせ	
10	8	4	2
11	9	7	3

"広報"に見る

この町の 主なできごと

ことしはあともわずかを残すばかりとなりました。ことし一年間「広報たまつくり」で取りあげた出来事をふりかえってみました。

1月

- 消防出初式(1/5)
- 『玉造町史』発刊記念式(1/6)
- 昭和五十八年十一月に町史編さんがスタートし、二年の歳月をかけて完成。
- 新年初顔合せ(1/7)
- 新成人のつどい(1/15)
- 第六回公民館まつり(1/15)

2月

- 第三回町民駅伝大会(2/2)
- 区対抗の部で芹沢が優勝。
- 『第二次玉造町振興計画新基本計画』を答申(2/24)
- 新基本計画は、昭和六十一年度を初年度とし昭和六十五年までの五カ年計画。主なねらいは、自然環境・生活環境・生産環境の三つが調和した活力ある地域社会の実現。
- 町政懇談会を開催(2/26)
- 水田利用再編対策を農家の皆さんにスムーズに進めていくためのお願いと、皆さんの要望や意見を町行政に反映させるために開かれたもの。
- 山下泰裕柔道六段が講演(2/26)

3月

- 消防演習(3/2)
- 第一回定例議会(3/7)
- 通常「予算議会」と呼ばれ昭和六十一年度の町の一般及び特別会計が決定されました。
- 住民定期健康診断(3/7)
- 第一回区長会議(3/15)
- 役員改選の結果、昭和六十一年度の区長会長に谷島の森作三好さんが選ばれました。
- 坂本町長夫妻が宮中茶会に招待(3/30)
- 天皇陛下の八十五歳誕生日と在位六十年を祝う「宮中茶会」に坂本町長夫妻が招待を受け出席。
- 町営住宅諸井団地の入居を開始(3/31)
- モダンな建物の町営住宅が諸井に完成(十二棟)。五月から入居が開始。

4月

- 役場定期人事異動(4/1)
- 二人が新規採用となり、六人が異動。
- 敬老会(4/4)
- 七十歳以上の高齢者一千三百八十三人が招かれました。
- 昭和三十九年度玉造町一般会計予算の補正について
- 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四千二百五十一万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ二十九億九千五百九十三万八千円となりました。
- 歳出の主な内わけは次のとおりです。
- 農林水産業費へ：二千六百二十九万六千円の補正増。羽生地区の農道新設改良費二千四百十五万円の補正増。
- 土木費へ九百六十五万円の補正増。合材・砕石・コンクリートなどの原材料費五百万円、県単急傾斜地崩壊対策事業負担金二百四十万円、踏切道路改良負担金二百二十五万円です。
- 教育費へ四百万円の補正増。消耗品費の百二十万円。絵画購入のための八十万円など。
- 民生費へ三十万五千円の補正増。老人医療受給者電算委託料です。

5月

- 衆・参同時選挙(5/6)
- 玉造町の投票率は、衆議院が七九・四九%、参議院が七九・四五%でした。
- 郡体で総合優勝(5/13)
- 第三十四回行方郡民体育祭大会が玉造町で行われ、玉造町が総合優勝しました。
- 鹿行地方県民集会在玉造町から四人の会議員が選ばれました。活動は二カ年。
- 台風十号で町に被害が(5/14)
- 飯島町議会議長が欧州視察(5/14)
- 坂本町長がカナダ・アメリカを訪問(5/28)
- 井上神社の奉納相撲(5/29)
- 皇太子殿下が玉造町を巡幸(5/30)
- 皇太子殿下が、県内ご視察の一環として玉造町の県内水面水産試験場をご視察。ご来町は昭和四十四年以来十七年ぶり。
- 内水面水産試験場を訪れた皇太子殿下
- 第十七回体力づくり玉造町総合球技大会(5/30)
- 町消防団秋季点検並びに消防ポンプ操法競技大会(5/30)
- 茨城県消防ポンプ操法競技大会行方地区大会(5/30)
- 玉造町から自動車ポンプの部に出場した根古屋チームが見事三連覇を達成。なお小型動力ポンプに出場した泉チームは惜しくも入賞できませんでした。
- 立花地区保健協力員に委嘱状(5/30)
- 十月から、新たに三十二人の立花地区の保健協力員が誕生。二年間地域保健にご活躍いただきことになりました。
- 第二十五回産業文化祭(5/31)
- 第四回町民健康マラソン大会(5/31)
- 蔵土地改良が竣工(5/31)

計画的な作付でご協力を！

～水田利用再編対策～

昭和61年度の水田利用再編対策については、生産者の皆さんのご協力により、どうにか目標を達成することができました。ありがとうございました。

来年度(昭和62年度)からは、この事業も『水田農業確立対策事業』として減反面積の増と転作奨励金の大幅な減を含み、さらに6か年継続される予定です。

62年度は、245ha(今年度より62haの増)の目標面積が割当てられそうに見通します。農家経済が低迷している昨今、これ以上水稲の減反を要請するのは酷なお願いですが、これを達成するのが生産者団体・町の命題であると考えられますので来年度の水稲作付にあたっては計画的な作付をされますよう、なお一層ご協力くださるようお願いいたします。

※予想される個人配分率 23%
(61年度は 17.5%)

第六回臨時議会

第六回臨時議会が十一月十一日に開かれました。上程された二議案は原案どおり可決されました。議案の内容は次のとおりです。

▼玉造町教育委員会委員の任命について

玉造町教育委員会委員に、舟津の磯山哲雄さんを任命することに議会の同意が得られ

優勝。
○『第二次玉造町振興計画新基本計画』を答申(2/24)

4月

- 役場定期人事異動(4/1)
- 二人が新規採用となり、六人が異動。
- 敬老会(4/4)
- 七十歳以上の高齢者一千三百八十三人が招かれました。
- 昭和三十九年度玉造町一般会計予算の補正について
- 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四千二百五十一万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ二十九億九千五百九十三万八千円となりました。
- 歳出の主な内わけは次のとおりです。
- 農林水産業費へ：二千六百二十九万六千円の補正増。羽生地区の農道新設改良費二千四百十五万円の補正増。
- 土木費へ九百六十五万円の補正増。合材・砕石・コンクリートなどの原材料費五百万円、県単急傾斜地崩壊対策事業負担金二百四十万円、踏切道路改良負担金二百二十五万円です。
- 教育費へ四百万円の補正増。消耗品費の百二十万円。絵画購入のための八十万円など。
- 民生費へ三十万五千円の補正増。老人医療受給者電算委託料です。

5月

- 衆・参同時選挙(5/6)
- 玉造町の投票率は、衆議院が七九・四九%、参議院が七九・四五%でした。
- 郡体で総合優勝(5/13)
- 第三十四回行方郡民体育祭大会が玉造町で行われ、玉造町が総合優勝しました。
- 鹿行地方県民集会在玉造町から四人の会議員が選ばれました。活動は二カ年。
- 台風十号で町に被害が(5/14)
- 飯島町議会議長が欧州視察(5/14)
- 坂本町長がカナダ・アメリカを訪問(5/28)
- 井上神社の奉納相撲(5/29)
- 皇太子殿下が玉造町を巡幸(5/30)
- 皇太子殿下が、県内ご視察の一環として玉造町の県内水面水産試験場をご視察。ご来町は昭和四十四年以来十七年ぶり。
- 内水面水産試験場を訪れた皇太子殿下
- 第十七回体力づくり玉造町総合球技大会(5/30)
- 町消防団秋季点検並びに消防ポンプ操法競技大会(5/30)
- 茨城県消防ポンプ操法競技大会行方地区大会(5/30)
- 玉造町から自動車ポンプの部に出場した根古屋チームが見事三連覇を達成。なお小型動力ポンプに出場した泉チームは惜しくも入賞できませんでした。
- 立花地区保健協力員に委嘱状(5/30)
- 十月から、新たに三十二人の立花地区の保健協力員が誕生。二年間地域保健にご活躍いただきことになりました。
- 第二十五回産業文化祭(5/31)
- 第四回町民健康マラソン大会(5/31)
- 蔵土地改良が竣工(5/31)

6月

- 役場定期人事異動(6/1)
- 二人が新規採用となり、六人が異動。
- 敬老会(6/4)
- 七十歳以上の高齢者一千三百八十三人が招かれました。
- 昭和三十九年度玉造町一般会計予算の補正について
- 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四千二百五十一万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ二十九億九千五百九十三万八千円となりました。
- 歳出の主な内わけは次のとおりです。
- 農林水産業費へ：二千六百二十九万六千円の補正増。羽生地区の農道新設改良費二千四百十五万円の補正増。
- 土木費へ九百六十五万円の補正増。合材・砕石・コンクリートなどの原材料費五百万円、県単急傾斜地崩壊対策事業負担金二百四十万円、踏切道路改良負担金二百二十五万円です。
- 教育費へ四百万円の補正増。消耗品費の百二十万円。絵画購入のための八十万円など。
- 民生費へ三十万五千円の補正増。老人医療受給者電算委託料です。

7月

- 衆・参同時選挙(7/6)
- 玉造町の投票率は、衆議院が七九・四九%、参議院が七九・四五%でした。
- 郡体で総合優勝(7/13)
- 第三十四回行方郡民体育祭大会が玉造町で行われ、玉造町が総合優勝しました。
- 鹿行地方県民集会在玉造町から四人の会議員が選ばれました。活動は二カ年。
- 台風十号で町に被害が(7/14)
- 飯島町議会議長が欧州視察(7/14)
- 坂本町長がカナダ・アメリカを訪問(7/28)
- 井上神社の奉納相撲(7/29)
- 皇太子殿下が玉造町を巡幸(7/30)
- 皇太子殿下が、県内ご視察の一環として玉造町の県内水面水産試験場をご視察。ご来町は昭和四十四年以来十七年ぶり。
- 内水面水産試験場を訪れた皇太子殿下
- 第十七回体力づくり玉造町総合球技大会(7/30)
- 町消防団秋季点検並びに消防ポンプ操法競技大会(7/30)
- 茨城県消防ポンプ操法競技大会行方地区大会(7/30)
- 玉造町から自動車ポンプの部に出場した根古屋チームが見事三連覇を達成。なお小型動力ポンプに出場した泉チームは惜しくも入賞できませんでした。
- 立花地区保健協力員に委嘱状(7/30)
- 十月から、新たに三十二人の立花地区の保健協力員が誕生。二年間地域保健にご活躍いただきことになりました。
- 第二十五回産業文化祭(7/31)
- 第四回町民健康マラソン大会(7/31)
- 蔵土地改良が竣工(7/31)

8月

- 役場定期人事異動(8/1)
- 二人が新規採用となり、六人が異動。
- 敬老会(8/4)
- 七十歳以上の高齢者一千三百八十三人が招かれました。
- 昭和三十九年度玉造町一般会計予算の補正について
- 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四千二百五十一万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ二十九億九千五百九十三万八千円となりました。
- 歳出の主な内わけは次のとおりです。
- 農林水産業費へ：二千六百二十九万六千円の補正増。羽生地区の農道新設改良費二千四百十五万円の補正増。
- 土木費へ九百六十五万円の補正増。合材・砕石・コンクリートなどの原材料費五百万円、県単急傾斜地崩壊対策事業負担金二百四十万円、踏切道路改良負担金二百二十五万円です。
- 教育費へ四百万円の補正増。消耗品費の百二十万円。絵画購入のための八十万円など。
- 民生費へ三十万五千円の補正増。老人医療受給者電算委託料です。

9月

- 役場定期人事異動(9/1)
- 二人が新規採用となり、六人が異動。
- 敬老会(9/4)
- 七十歳以上の高齢者一千三百八十三人が招かれました。
- 昭和三十九年度玉造町一般会計予算の補正について
- 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四千二百五十一万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ二十九億九千五百九十三万八千円となりました。
- 歳出の主な内わけは次のとおりです。
- 農林水産業費へ：二千六百二十九万六千円の補正増。羽生地区の農道新設改良費二千四百十五万円の補正増。
- 土木費へ九百六十五万円の補正増。合材・砕石・コンクリートなどの原材料費五百万円、県単急傾斜地崩壊対策事業負担金二百四十万円、踏切道路改良負担金二百二十五万円です。
- 教育費へ四百万円の補正増。消耗品費の百二十万円。絵画購入のための八十万円など。
- 民生費へ三十万五千円の補正増。老人医療受給者電算委託料です。

10月

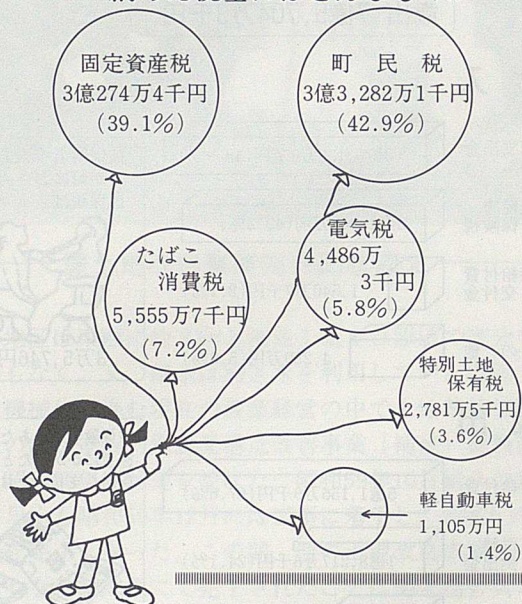
- 役場定期人事異動(10/1)
- 二人が新規採用となり、六人が異動。
- 敬老会(10/4)
- 七十歳以上の高齢者一千三百八十三人が招かれました。
- 昭和三十九年度玉造町一般会計予算の補正について
- 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四千二百五十一万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ二十九億九千五百九十三万八千円となりました。
- 歳出の主な内わけは次のとおりです。
- 農林水産業費へ：二千六百二十九万六千円の補正増。羽生地区の農道新設改良費二千四百十五万円の補正増。
- 土木費へ九百六十五万円の補正増。合材・砕石・コンクリートなどの原材料費五百万円、県単急傾斜地崩壊対策事業負担金二百四十万円、踏切道路改良負担金二百二十五万円です。
- 教育費へ四百万円の補正増。消耗品費の百二十万円。絵画購入のための八十万円など。
- 民生費へ三十万五千円の補正増。老人医療受給者電算委託料です。

11月

- 役場定期人事異動(11/1)
- 二人が新規採用となり、六人が異動。
- 敬老会(11/4)
- 七十歳以上の高齢者一千三百八十三人が招かれました。
- 昭和三十九年度玉造町一般会計予算の補正について
- 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四千二百五十一万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ二十九億九千五百九十三万八千円となりました。
- 歳出の主な内わけは次のとおりです。
- 農林水産業費へ：二千六百二十九万六千円の補正増。羽生地区の農道新設改良費二千四百十五万円の補正増。
- 土木費へ九百六十五万円の補正増。合材・砕石・コンクリートなどの原材料費五百万円、県単急傾斜地崩壊対策事業負担金二百四十万円、踏切道路改良負担金二百二十五万円です。
- 教育費へ四百万円の補正増。消耗品費の百二十万円。絵画購入のための八十万円など。
- 民生費へ三十万五千円の補正増。老人医療受給者電算委託料です。

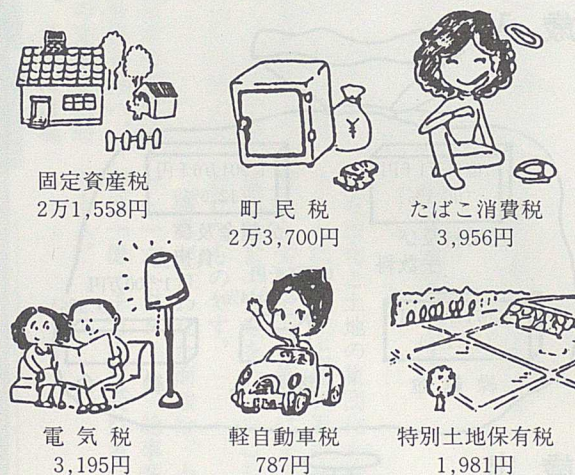
わたしたちが町に納めた税金は

納めた税金にはどんなものが



一人あたりが納めた税額は

5万5,177円



町債（町の借金）の状況……総額22億476万円

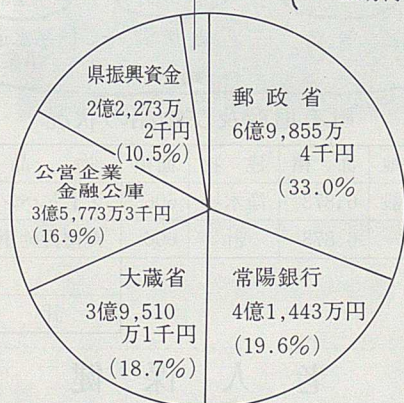
市町村共済組合
2,454万円(0.2%)

市町村振興協会
400万円(0.2%)

どういうものに



どこから借りたか



(%は全体に
対する割合)

町有財産にはどんなものが

土 地	面 積	建 物	面 積
庁 舎 敷 地	5,905	庁 舎	4,083
消 部 施 設	814	消 防 施 設	730
学 校	128,114	学 校	21,702
幼 積 園	12,129	幼 稚 園	1,621
公 営 住 宅	11,601	公 営 住 宅	1,856
公 民 館	5,491	公 民 館	3,262
その他の施設	67,762	図 書 館	946
山 林	23,156	その他の施設	2,381
原 野	17,391	そ の 他	663
そ の 他	103,957		
計	376,320	計	37,244

機械器具及び基本財産にはどんなものが

物 品	台 数 (台)	基 本 財 産	金 額 (千円)
乗 用 車	1	財政調整基金	225,814
ライトバン	14	国民年金印紙 購入基金	3,000
ダ ン プ	2	出資による権利	13,425
消防自動車	6	出 損 金	10,194
ショベル ローダー	1	合 計	252,433
ブルトーザー	1		
福 社 バ ス	1		
合 計	26		

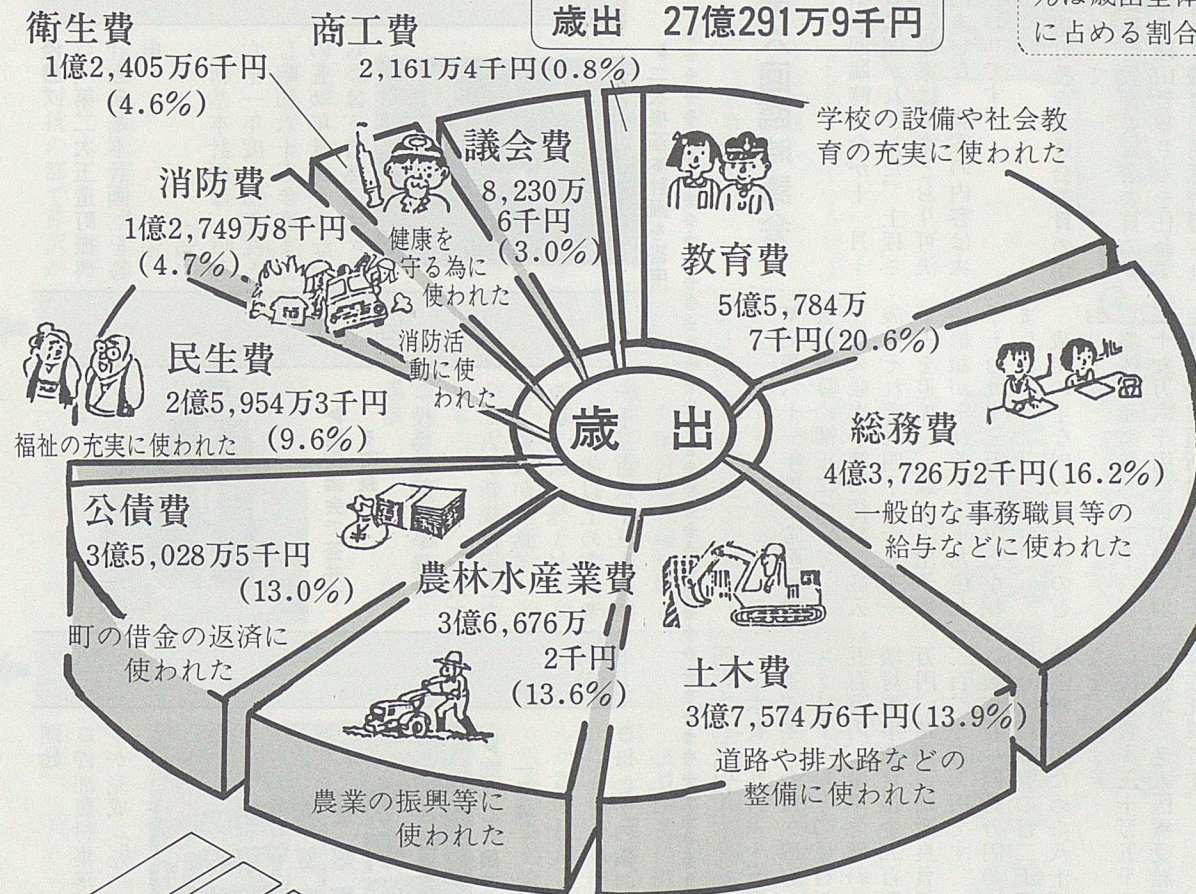
こう使われた

決算

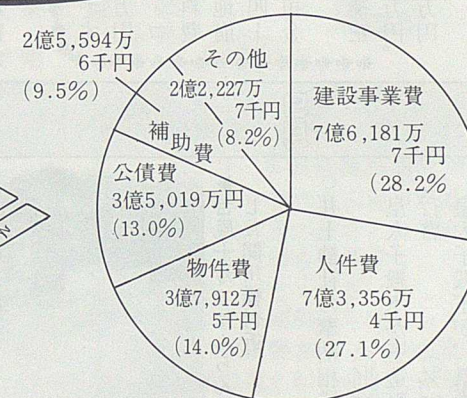
%は歳出全体
に占める割合

歳入 29億547万8千円

歳出 27億291万9千円



歳出決算は、どのような性質別に使われたか



昭和60年度の玉造町一般会計及び特別会計の歳入歳出決算は、さる10月20日の第5回臨時議会で認定されました。その内容をご紹介します。一般会計は歳入が29億547万8千円、歳出が27億291万9千円。特別会計は、国民健康保険事業が歳入7億3,881万9千円、歳出が7億5,704万3千円。簡易水道事業が歳入1億5,149万8千円、歳出1億2,901万円、老人保健が歳入4億703万4千円、歳出4億680万2千円。小川町外5ヶ町村伝染病隔離病舎組合が歳入1,555万5千円、歳出が1,390万円。なお歳入歳出差引残額は昭和61年度に繰越しました。

地方交付税 一〇億五、九九二万四千円(三六・五%)

(歲入)

%は歳入全体
に占める割合



蕨土地改良事業完成記念碑文

この地区は東西に約2kmと細長く続く谷津田で十分な耕作道路もなく、又、用水は湧き水を利用していた湿田であった。機械化が進む現在の農業経営の中で土地基盤整備事業導入の話が進み、新農業構造改善事業（補足）梶無地区として昭和59年度認定を受けた。昭和59年10月組合の設立をし、早くも昭和59年12月には工事に着手し、昭和61年10月に登記完了となった。この間、他の土地改良事業とは比較すべくもなく短期間にて完了されたことは関係組合員の理解と役職員の献身的な努力は勿論、町当局並びに土地改良事務所の指導援助があったことを忘れてはならない。又、施工業者の誠意ある工事施行があったことも忘れられない。受益者30名、受益面積11・16ha、総事業費110,000千円で施行されこの事業が完成した。

昭和61年11月吉日
蕨土地改良事業共同施行



▲発表する羽成さん

各町村の発表からは、産業の振興、文化活動の推進、保健・医療体制の整備などが出されました。玉造町からは羽成忠一運営副委員長が発表にたち「①住民の声をきく新しい町づくり、②文化施設の充実、③医療施設の充実、④地域の特性を生かした観光開発、⑤青少年健全育成」の五つの課題を述べました。その要約は別掲の

○地域特性を生かした観光開発—恵まれた自然と農業産業を発展させ町の活性化を図る（1観光農園、2観光と結びつけた商業経営、3若者の定着をはかる所得の向上）

○青少年健全育成—新しい時代をなう子供達を育てるために（1町民会議をはじめとする各種団体の町ぐるみ育成活動、地域住民の意識向上を推進する）

町から羽成さんが発表

鹿行地方県民集会全体会議

昭和六十一年度の「鹿行地方県民集会第二回全体集会」が、十一月十七日に銚田合同庁舎で開かれました。今回は、さる七月にスタートした県民集会が、それぞれ町村ごとの自主会議で話し合い、討論した内容を発表し、課題を選んでいくために開かれたものです。

○文化施設の充実—町民の教養と文化意識の向上をはかる（1水の科学館と総合公園及び一般総合運動場の建設、2文化会館と資料館の建設、3施設を利用した生涯学習の実践）

○医療施設の充実—乳児から老人まで安心して暮らせるために（1総合病院の建設と救急医療体制の確立）

○地域の特性を生かした観光開発—恵まれた自然と農業産業を発展させ町の活性化を図る（1観光農園、2観光と結びつけた商業経営、3若者の定着をはかる所得の向上）

○青少年健全育成—新しい時代をなう子供達を育てるために（1町民会議をはじめとする各種団体の町ぐるみ育成活動、地域住民の意識向上を推進する）

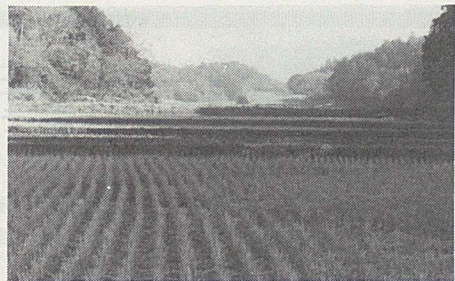
蕨（わらび）土地改良事業が完了

—11ヘクタール、受益者30人—

昭和五十九年十二月二十七日に工事が始まった蕨（わらび）地区は、場整備事業が、一年四か月をかけてこのほど完了。十一月二十九日に竣工式が行われました。

の乾田化と土地の集団化を図ることに、土地利用の高度化と労働力の節減による農業経営の安定をねらいに行われたものです。

事業が行われた面積は、一・一六ヘクタール。総事業費は一億一千万円。受益者は三十人。

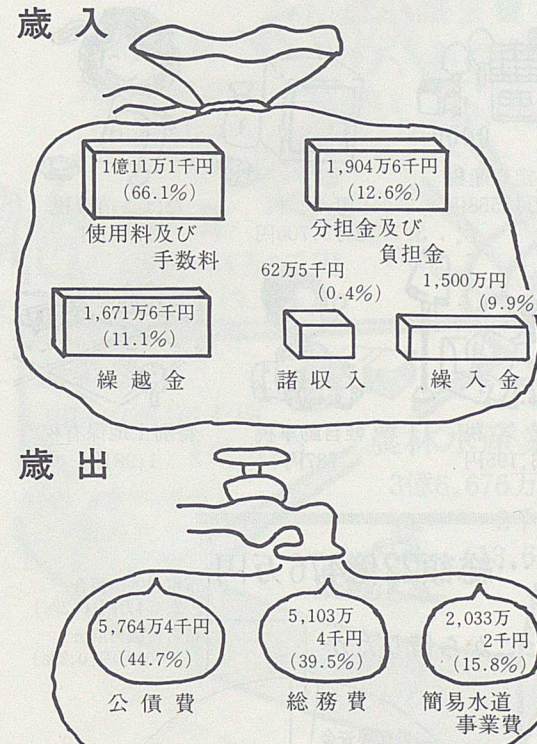


***** 特別会計は… *****

決算

簡易水道事業

歳入 1億5,149万8千円
歳出 1億2,901万 円

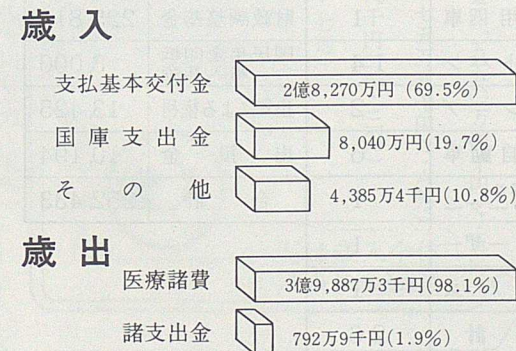


町有財産及び物品の状況

土 地	面 積	建 物	面 積	物 品	台 数
水道施設	6,873㎡	浄水場	606㎡	ライトバン	1
計	6,873	計	606	貨物自動車	1
				計	2

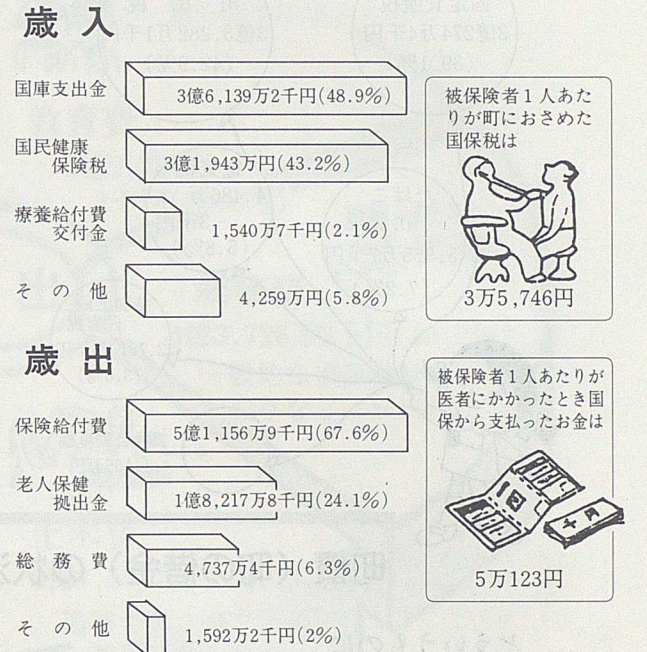
老人保健

歳入 4億703万4千円
歳出 4億680万2千円



国民健康保険事業

歳入 7億3,881万9千円
歳出 7億5,704万3千円



財産にはどんなものが (単位千円)

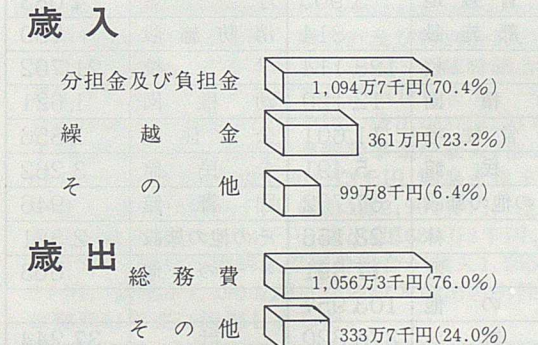
区 分	金 額
診療報酬支払基金預託金	671
支払準備基金	59,950

国民年金印紙購入基金の運用状況

区 分	前年度現在高	決算年度末現在高
金 額	85,845,290円	83,569,140円
基金の額	3,000,000円	3,000,000円

小川町外5ヶ町村伝染病隔離病舎組合

歳入 1,555万5千円
歳出 1,390万 円



町民四〇〇人が参加

町民健康マラソン

「第四回玉造町民健康マラソン大会」が十一月二十三日に、町民四百人が参加して行われました。結果は次のとおりです。

(敬称略)

◆親子の部(一・五キロ)

一位大曾根美代子・崇雄(二年)
二位佐藤達郎・章郎(二年)
三位森戸大司・恵(二年)
四位幡谷守・郁(一年)
五位風間吉夫・武司(五歳)
六位若泉治男・佳代子(二年)
七位根崎孝一・渉(一年)
八位橋本一子・正則(二年)
九位根本幸子・留美(一年)
十位深沢三千雄・貴之(二年)

◆小学男子三・四年の部(二キロ)

一位山口博邦(8分3秒)
二位堀朋和(8分8秒)
三位小林孝之(8分22秒)
四位河野真一(8分23秒)
五位坂本勝樹(8分24秒)
六位小沼寛之、七位風間洋、八位成島順一、九位成井英全、十位坂本賢治

◆小学女子三・四年の部(二キロ)

一位川島洋子(8分43秒)
二位中島しづ子(8分44秒)
三位菅谷智美(8分50秒)
四位宮本真紀子(8分53秒)

◆小学男子五・六年の部(二キロ)

一位藤原忍(7分33秒)
二位関口剛(7分34秒)
三位磯部博(7分41秒)
四位堀田敏司(7分49秒)
五位高崎教寿(7分55秒)
六位関口要一、七位橋川利治、八位鈴木勝也、九位高塚一徳、十位佐藤章

◆小学女子五・六年の部(二キロ)

一位宮本敦子(8分7秒)
二位村上往子(8分31秒)
三位野原裕子(8分39秒)
四位野原久美(8分47秒)
五位芳野浩美(9分0秒)
六位関野ひろみ、七位田中麻美、八位郡司由美、九位飯島憲子、十位坂本浩美

◆中学男子の部(三キロ)

一位岩本祥一(10分35秒)
二位舟串剛(10分44秒)
三位大輪勝典(10分51秒)
四位若泉秀治(11分1秒)
五位伊藤政隆(11分6秒)
六位高橋剛、七位久米典孝、八位高崎和則、九位山口一貴、十位小林克彦

◆中学女子の部(二キロ)

一位成田昌美(7分42秒)
二位飯島マユミ(7分45秒)
三位後藤佳子(8分2秒)
四位横須賀昌喜(8分4秒)
五位遠藤典子(8分5秒)
六位堀田恵美子、七位田神佳代子、八位大久保清美、九位千葉喜美子、十位川島純子

◆高校・一般男子の部(十キロ)

一位土子一郎(18分28秒)
二位若泉治男(18分43秒)
三位英保弘(20分22秒)
四位関野吉(20分34秒)
五位田中俊雄(21分11秒)
六位茂木厚、七位須貝稔

◆壮年の部(三キロ)

一位関口吉(11分19秒)
二位英保弘(12分18秒)

優勝は宮崎政夫さん ——町民ゴルフ大会——

第17回玉造町民ゴルフ大会が11月20日にダイヤグリーンで行われ、宮崎政夫さん(上宿)が優勝しました。大会には66人が参加し、それぞれ健闘しました。成績は次のとおりです。(敬称略)

順位	氏名	グロス	パディキャップ	ネット
優勝	宮崎政夫	86	34	52
準優勝	山口幸雄	84	24	60
3位	斎藤義則	85	22	63
4位	斎藤源	100	36	64
5位	鈴木俊資	101	36	65
6位	坂本和夫	102	36	66
7位	田辺秀夫	87	20	67
8位	野口正男	98	30	68
9位	亀山忠義	79	10	69
10位	風間孝行	81	12	69

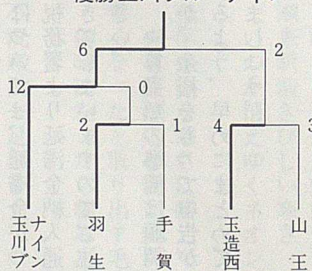
※ベストグロス賞 亀山忠義(40.39)79
※ニアピン賞 樽見哲夫・坂本和夫・岡本輝雄・菅谷秀一
※ドラコン賞 熊谷完静・野口正男

ゴルフチャリティーを寄付 ——62,730円を——

このほど、ゴルフ大会でのチャリティーで集まったお金62,730円が、12月3日に善意銀行へ寄付されました。役員一同で相談した結果、善意銀行を通じて町の青少年の健全育成のために使っていただこうと寄付したものです。チャリティーは、さる8月20日に白帆カントリークラブで行われた、第3回アマチュアゴルフ連盟大会より始められたもので、ショートホールでワンオンしなかった場合そのプレイヤーより募金をつのりその時が26,000円集まりました。今回の大会には36,730円集まり、合わせて善意銀行に寄付されました。



優勝玉川ブルーナイン



町長杯は
「玉川ブルーナイン」
少年団野球大会を兼ねた『
第六回玉造町長杯スポーツ
大会』が、十月二十六日に玉造小学校グラウンドで行われ、玉川ブルーナインが四回連続、七度目の優勝を飾りました。結果は次のとおりです。

手賀婦人会三たび表彰を ～救らいボランティア活動で～

手賀婦人会が、救らい募金活動の功勞により藤楓協会茨城支部(支部長竹内県知事)表彰を受けました。

多年にわたる救らい事業の普及に協力したその功績が認められたもので、さる11月4日に水戸市県民文化センターで行われた『第8回健康いばらき県民大会』で表彰を受けました。

手賀婦人会は、郡内でもとくに救らいボランティア活動に力を入れており、52年12月と56年4月に続き、今回で3度目の表彰となりました。

救らい活動は、ハンセン病患者に温かい手をさしのべるボランティア活動。郡の婦人会もことは東京の多磨全生園へ慰問を行い、手賀婦人会からは8人が参加しました。

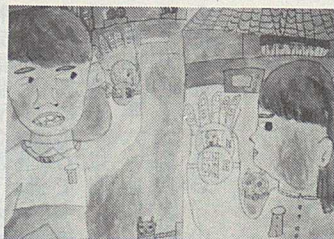
今回の表彰について「手賀地区住民の皆さんの深いご理解とご協力の成果によるもので、大変ありがたいことです」と、手賀婦人会では話しています。



▲砂原圭孝君の作品



▲田神映美さんの作品



▲小野口明子さんの作品

県知事賞に滝愛美ちゃん(玉造小)

NTT児童画コンクール



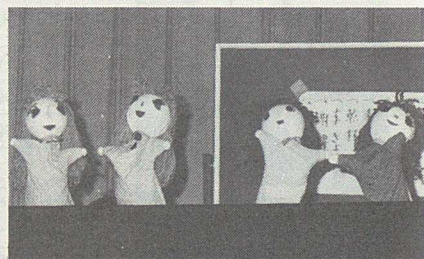
通信電話記念日にちなんで毎年行われている『NTT児童画コンクール』の最高賞である県知事賞に、玉造小学校一年の滝愛美ちゃんが見事選ばれました。

▲滝愛美ちゃんの作品

今回のコンクールのテーマは「ぼくとわたしのゆかいな電話」で、県内四百六十八小学校から三千八百三十一一点の作品が寄せられ、そのなかから審査の結果選ばれたもの。愛美ちゃんのほかにも、玉造小学校から優秀賞に砂原圭孝君(一年)・小野口明子さん(三年)・田神映美さん(六年)の三人が入賞しました。おめでとうございます。

コミュニケーション、ばっちり! 新田 18回目の交歓会

お母さんたちの手づくりの料理で、おじいちゃんおばあちゃんたちにごちそうをコミュニケーションをはかる交歓会が、ことしも十二月一日に新田地区公民館で行われました。



▲人形劇をするお母さんたち
▼ごちそうに舌づつみするお年寄りたち

今回で十八回目を迎えた交歓会には、和らぎ会には、和らぎ会のお母さんと老人クラブのお年寄りたちが大勢参加し、会場内は和気あいあいの雰囲気。和らぎ会の法水百合子会長は「和らぎ会ができてことしで十九年目。交歓会は十八年目で毎年続けてきました。二十年目には、いものにしたい」とあいさつ。

今回の交歓会では、お母さんたちが手づくりの人形劇をプレゼントしました。まず、風呂敷で作った人形によるダンス、続いて、むすんでひらいての人形による遊戯、最後に昔話し劇。おばあちゃんたちは目を細めながら楽しんでました。



昭和62年度における農用地 区域内の農地の転用手続き

町では、優良農用地の確保を目的として、農用地区域を農振法（農業振興地域の整備に関する法律）の規定により認定しており、この区域内の農地を転用する場合には、事前に県知事の認可が必要です。

この認可を受けるために、町では例年二回の変更手続きを受け付けて

おりましたが、昭和六十二年度については農振の「特別管理」の年にあたり、農用地区域内の変更、除外等の手続きが一切認められません。

したがって、町でも昭和六十二年度においては申請を受け付けませんので、当該年度中にやむを得ず転用等の計画がある方は、必ず昭和六十二年一月七日（水）までに役場農林水産課へご相談ください。

役場農林水産課（四五〇一一一）

製造事業所の皆さんへ

昭和六十一年工業統計調査 石油等消費構造統計調査 にご協力を



通商産業省では、昭和六十一年の「工業統計調査」と「石油等消費構造統計調査」を、十二月三十一日現在で行います。調査の対象となる製造業

を営む事業所には、年末から一月にかけて調査員が伺います。調査票に記入された内容は、統計以外の目的に使用されることは決してありませんので、安心してご協力くださるようお願いいたします。

なお、玉造町の調査員は次の皆さんです。（敬称略）立花・現原地区：横田清衛、玉造地区：大和田義雄、手賀地区：堀田秀男、玉川地区：田口進一。



元東京オリピック 「東洋の魔女」来なる

恒例となっており、新春講演会が来月一月十七日（土）に開催されます。今回は、元東京オリピックバレーボール東洋の魔女中村昌枝先生（旧姓河西）を

国の進学ローンを のご利用を

来春進学されるお子様をお持ちの方におすすしめします。手続きは簡単です。

★ご利用いただける方 高校、高等専門学校、短大、大学等に進学されるための資金を必要とされる方

★ご融資額 一進学者あたり五十万円以内

★利率 年六・四%

お迎え致します。この機会に多数のご来場をお待ちしております。

なお、入場は無料ですので、ご近所お誘い合わせの上ご来場下さい。

▽日時 一月十七日（土）午後一時半より

▽場所 玉造町中央公民館

▽講師 中村昌枝先生

▽テーマ『スポーツ・人生・そして家庭』

泉所得税は、一月十日までに税務署に納付して下さい。期日までに納付できなかった方については、延滞金がつき、税務署より延滞金納入通知がきてしまいますのでご注意ください。

決算書類の準備は順調ですか。余裕をもって申告ができるよう、早めにまとめておきましょう。

(税)の窓

申告納税制度を支えるために

我が国の税制は、自分の所得の状況を最もよく知っている納税者が、自ら税法に従って自分の所得と税額とを正しく計算して申告し納税するという、申告納税制度をとっています。

それだけに、納税者の皆さん一人一人が税の役割を正しく理解し、納税は市民社会を支えるために皆が守るべきルールであるとの意識の下に、申告納税制度を自分たちのも

のとして育てていく必要があります。

税務署では、申告納税制度の基本である「正しい申告と納税」のために、地方公共団体、税理士会、関係民間団体等との連携を積極的に推進し、申告納税制度の発展に努めています。

「心のスキ」が 狙われます

年末の犯罪に遭わないために

「今年中にこれだけは済ませておきたい」「△△の料金は今年中に支払わなければ…」

年の瀬は、これもしなければ、あれもしなければと、なにかとあわただしくなります。忙しさにだまされ、家のカギを掛け忘れたり、大切なものを置き忘れるなど、ちょっとした「心のスキ」が、できやすいこの時期は、空き巣やスリにとつて絶好の稼ぎ時です。

ドロボーは、あなたのちょっとした気のゆるみを狙っています。年末に空き巣やスリなどの被害に遭わないために、次のことに注意してください。

①外出するときは、たとえわずかな時間でもカギを掛ける。また、隣近所に一声かけて留守を頼むことも忘れずに。

②多額の現金は、なるべく手元に置かないように。通帳と印鑑は別々に保管を。

③混雑する場所へ行くときは、必要以上の現金を持ち歩かない。

④大金を持ち歩くときは、複数で行動するなど細心の注意を払う。

⑤車や自転車、バイクを駐車するときには、必ずカギを掛けるように。車の中には現金など大切なものを置かない。

羽生幼稚園へ寄贈

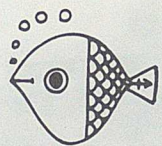
○六月二日：貝塚勝男さん（八木蒔）より郵便受台一個

玉造町長選挙の 投票日は 昭和62年1月18日(日) の予定です



○十一月二十三日：小澤正雄さん（羽生）より樹木（イチヨウ）五本

第151回 公民館謡謡教室



兼題「心・念・尾・芽・出・遠」
遠く離れた他国じゃオペも
果し得ないよ愛の手に 幸江
雪の山家は春まだ遠く
軒にゃ氷柱の冬籠り 正花

婆の念仏溜った愚痴を
そつと吐き出す御仏前 夢情
口が滑った話に尾ひれ
付いて我が家に舞い戻る 和代
村の鎮守へ念願かけた
孫は紐解き礼参り 都美
口には出さねど苦勞の程が
深い眉間のしわに 草女
昔話が何時もの癖で
出れば程よい酔機嫌 玉洞
遠い昔の思い出話
花が咲いているクラス会 よしお
老いの小言が出端をくじく
嫁の出癖へ打った針 青声
遠い北国ふる初雪を

汽車が土産に上野入り きみ
冷えた石でも心があるよ
握りや温さが通つもの 幾代
念を入れても気ばかりあせる
そつと入れ足す嫁仕度 藤娘
春に出る芽の備えが出来て
心置きなく散る木の葉 秋扇
叫びたい程嬉しい心
ぐつとこらえた披露宴 久子
心ならずも日頃の無沙汰
共に詫言合ふクラス会 美代
女一人が赤提灯を
出して生活の灯を点す とくじ
霜を迎えて元気な柚子よ
孫の誕生記念の樹 尚詩
筑波おろしが尾を引いたやら

風に鳴っている枯尾花 房子
心細さは一人の暮し
テレビたよりの長い夜 伸子
いつの間にかやう尾端が付いて
とんだ噂の主となる 令音
霞浦の名残りのポンポン船が
遠い思い出に浮かんで行くいなほ
遠い三原の噴火のテレビ
怒るマグマの恐ろしさ 豊山
席題「寒」
朝のまんまで昇らぬ目盛り
今日も寒空温度計 翠峰
寒い雪風後押す様な
残葉帰りの月夜道 竹堂
木々は裸に揺るる牡丹
ひとり燃えてる寒椿 まさお

団子浮かせた湯気立つ鍋は
母が丹精の寒ざらし とく女
つる寒さに熱燗つけて
味もよく出た蜆汁 訥也
潮来駅前きびしい寒さ
いつか消えゆくネオン街
苦学生徒が寒さに耐えて
声を投げ込む朝刊紙 琴子
寒くなったと取り出す毛糸
何時になったら編みあがる
不況寒風一足早く
吹いて家計簿赤しるし 有美
店に入って献立決めて
寒い今宵はオデン鍋 道子

きわが君

西村 京



十一月三十日に、商工会東側の役場駐車場で大規模な消防演習が行われました。

秋季全国火災予防運動週間の一環として、防火思想の普及と、町消防団と行方北部消防署の火災防ぎよ技術を高めるために行われたものです。

演習には、町消防団から下宿、根古屋、宿、八木蒔、上宿川向、中山の各分団から六人の消防自動車と団員百四十人、行方北部消防署からは救急車を含めた四台と署員三十人が参加。

午前九時に、町の密集地の住宅から出火、強風にあおられて隣接建物へ延焼拡大との想定のもとで演習がスタート。ただちに三台の消防車がかつけ消火。九時十二分には火災が更に拡大、密集地全体への延焼危険を生じたとの第二想定のもと、次々に五台の自動車がかつけ消火。七分後に鎮火し、その後一斉放水で消防演習をしめくりました。

また、演習の直前には付近住民による消火器の初期消火訓練も行われました。

火災を防げ!

—— 大規模な警防演習 ——



誕生おめでとう
ぎんます

出産
〈10月〉

荒宿	横須賀	横須賀	横須賀	小座山	沖洲	捻木	浜木	浜貝	柄貝	里島	谷島	芹沢	ところ
栗	又	健	一	鬼	澤	由	妃	美	晃	典	太	友	未
長男	二女	精	司	謙	修	昭	正	茂	二	謙	浩	正	文
続柄	保護者	赤ちゃん	直也	亜希子	愛	霞	緒	太	佳	山	山	島	藤
長男	長女	長女	長女	長女	長女	長女	長女	長女	長女	長女	長女	長女	長女

根古屋	新宿	上山	泉	竹の	浜	ところ	おみやぎ 申上げます	中山	上宿	緑ヶ丘	川向	八木蒔	沖洲	高須
西谷	花田	風間	飯田	望月	望月	氏名	死亡	竹岡	内野	太基	二男	利治	義幸	礼二
八三	七八	六六	八六	八〇	八五	年齢	死亡	八三	七八	六六	八六	八〇	八五	八三

休・祭日当番医

12/21	日曜日	方波見	医院	☎0551
12/28	日曜日	金塚	医院	☎05050
1/1	元日	根本	医院	☎0138
1/2	金曜日	関野	医院	☎0102
1/3	土曜日	方波見	医院	☎0551
1/4	日曜日	金塚	医院	☎0550
1/11	日曜日	関野	医院	☎0102

(診療時間 午前9時～午後4時)

編集
後記



〇「反省」この言葉がしきりに目の前にちらつく十二月。今年の流行語は「究極」と「新人類」。ちなみに私も新人類に含まれるのでしょうか? 〇年末年始を迎え、交通事故には十分ご注意ください。〇皆さま、どうぞよいお年をお迎えください。